

【おススメ・スポット】先輩達が紹介！！

生田キャンパス

生田・神田両キャンパスと、その周辺のおすすめスポットをジャーナリズム研究会のみなさんに紹介してもらった。学内施設、食堂、ホッと和めるポイント……自分だけのこだわりの場所を見つけ、勉学や課外活動を充実させよう。

生田キャンパス

学食

食欲を満たす！！ 食べ比べてみよう 個性的な9つの学食

生田キャンパスには九つの学食がある。

9号館5階には、見晴らしのよいテラス付きで女性に人気の「CABIN」。7号館と8号館の間にある食堂館には、いつもサークルのメンバーが集まり賑やかな「View」と「Nap Time」。3号館には生田会館にある森永の姉妹店「エンゼル3」。3号館裏のGreen Topには「ルクラブドゥ専修」「F-two」「F-one」「モスバーガー」の4店が集まり、何でも揃う。

学生自治会館前の生田会館には、出来立てのお弁当の販売も行っている「森永」がある。それぞれの学食に特徴があるので、自分にあつたお店を探してほしい。昼時の学食はどこも混雑してしまう。ゆっくりと食事をとりたいならば、2限や3限などの席が空いている時間にすることがよい。「森永」の唐揚げセット(360円)は、定番人気メニュー。熱々の唐揚げにケチャップとマヨネーズを豪快にかけるのが専大流。専大生なら一度は食べるべき。

また、各学食によって個性が光るカレーを食べ比べてみるのも一興。



CABINのテラスは開放感いっぱい



F-oneの明るい店内



Green Top4階の「ルクラブドゥ専修」



Green Topは4階建てで4店舗展開

(鈴木 啓太・ネット情報3)

生田キャンパス

向ヶ丘遊園駅周辺

食堂・娯楽施設

▼安芸もみじ亭

学生たちにとって駅前の定食屋さんやレストランは、命を繋ぐ大事な施設であることは間違いない。

その数多くある定食屋さんの中でも広島風お好み焼きの店「安芸もみじ亭」なら、どんな大食漢の学生でも満足できるだろう。焼きそばをふんだんに盛り込んだお好み焼きはボリューム満点で、ソースとの絡みもバッチリ、さらに自分の好きな具材をトッピングすることで、満腹感を得られることは確実だろう。サイドメニューも充実しており、食の細い人や逆に物足りないと感じる人でも安心のメニューが揃っている。

▼BIG BOWL

向ヶ丘遊園駅南口へ降りてすぐ、上に目をやると飛び込んでくるのが1本のボウリングのピン。中和ビル5階にあるボウリング場「BIGBOWL」である。駅名にもなっている向ヶ丘遊園地が姿を消した今、専大生なら一度は行ったことがあるだろう向ヶ丘遊園駅前を代表する娯楽施設の一つである。新装開店したばかりなので店内はピカピカ。

また、ビリヤード台やゲームコーナーも併設されており、ボウリング以外でも楽しむことができる。

(島 太一・須貝 俊之)

生田キャンパス

生田緑地

キャンパス隣接 自然満喫

生田緑地は、多摩丘陵の一角に位置する川崎市内最大の緑の宝庫である。向ヶ丘遊園駅南口から、徒歩15分で行くことができる。生田キャンパスに隣接しているので、自然を満喫しながらキャンパスへ通うことも可能である。

休日には、サークルのメンバーで遊びに行き、バドミントン、サッカーなどのアウトドアスポーツに明け暮れることもあるだろう。主な施設として、公営ゴルフ場のほか、岡本太郎美術館、日本民家園、伝統工芸館、青少年科学館、プラネタリウム、枳形山展望台、菖蒲園などが美しい自然を背景に設置されている。特に、そこには清閑な散歩道があり、入り口から池や林を抜けるように歩く道で、野鳥の鳴き声が聞こえてくる。

季節を問わず常に緑に溢れているが、特に3月から5月にかけては、多種類の梅の花、桜の木、ツツジなどが咲き乱れ、休日は人が絶えない。一度は足を運んでみるといいだろう。

(飯泉 直之・商3)

生田キャンパス

通学路

坂道も…… 10号館(仮称)完成で解消だ！！

「ナポレオンズ」も歩いた

向ヶ丘遊園駅から生田校舎までは徒歩で18分。学校までの道のりは決して平坦なものではない。学校に近づくにつれて坂道が急勾配になる。この坂道のおかげで教室に着く頃には皆へトへトになる。

これを回避するためには、少し遠回りにはなるが9号館を通り抜ける方法がある。また、現在建設中の10号館(仮称)が完成すれば、坂を登らずに、エスカレーターで7号館の脇に出ることができるようになる。こうすることにより、坂道の最も傾斜のきつい部分を避けることができるので、10号館完成にかける、学生の期待は大きい。

在校生には敬遠されがちな坂道だが、卒業生に聞くと「専修大学の一番の思い出は坂である」という答えが返ってくることも少なくない。

我々「ジャーナリズム研究会」が、昨年、専修大学OBであるナポレオンズのお二人にインタビューした時にも、彼らは「専修大学に感謝することはあの坂。いいエクササイズになったし、仕事で肉体労働に耐えられるのも大学4年間のおかげ」と答えている。その時は辛くても終わってみればいい思い出となっているようだ。

(須貝 俊之・経営3)

生田キャンパス

図書館生田分館

文庫本、雑誌、漫画…

“知、と “いやし、の空間

図書館生田分館は1号館と2号館の間にたたずんでいる。本館と比べると蔵書数は少ないが、文庫小説や雑誌、漫画など本館に置かれていない本を、数多く揃えている。

その “品揃え、はとても充実しており、訪れる人を退屈させることはない。また、飲食可能なテラスや学習用のスペース、さらにパソコンを設置しているスペースが完備されていることも注目すべき点である。入り口付近の壁面には「VERITAS NOS LIBERABIT(真理はわれわれを自由にしよう)」という文章が刻まれている。これは、『新約聖書』に由来するもので、世界の多くの図書館でも掲げられている。しかし、生田分館のものは、原文の「VOS」を「NOS」に変更したもので、ギリシャ語をラテン語に訳した原文の宗教的意味を離れ、より学問の場にふさわしい形で掲げられている。

晴れた日には、テラスに煌々と日の光が差し込み、柔らかな日差しの下で充足した時間を過ごすことができるだろう。図書館独特の心地良い静寂の中で、時間を忘れてのんびりと小説や雑誌を読みふけるのも悪くない。

(島 太一・文2)

## 神田キャンパス

### 魅力的な「アクセス」と、神田神保町書店街

神田キャンパスは法学部の2年次から4年次の学生、二部の学生、大学院生、法科大学院生の利用するキャンパスである。

神田キャンパスは地上15階、地下3階の1号館を中心とした都市型高層キャンパスである。法廷教室も備わっており、模擬裁判などの授業に使用されている。食堂は1号館の14階、地下1階、地下2階の3カ所にあり、生田校舎と同様に、自分にあった食堂を探してみるのもいいだろう。

神田キャンパスの図書館は、法学や政治学の蔵書が多いこと、そして開館時間が22時までと長いことが特徴である。1号館地下3階にはトレーニングマシンが揃えられており、授業の合間にひと汗ながすこともできる。

東京の中心、神田神保町に位置しており、都内各地へのアクセスは抜群。最寄り駅としてJR水道橋駅、地下鉄の九段下駅、神保町駅の三つがあり、どの駅も大学から歩いて10分以内の場所にある。近くには、入学式、卒業式が行われ、各種イベントやコンサートなど幅広い用途で使用される日本武道館や、読売ジャイアンツのホーム球場である東京ドーム、世界有数の電気街であると同時に文化発信拠点ともなった秋葉原などがある。

国会議事堂や最高裁判所も近く、法学、政治学を学ぶには魅力的な立地である。また、多くの老舗飲食店がひしめく神田周辺は、食べ歩きも楽しむことができる。カレーの街としても知られている。

同時に書店街としても有名で、書店、古書店あわせて160余りの店がひしめき合っている。狭い路地をぶらりと歩いてみれば、必ず何かの発見があるおもしろい街である。



(須貝 俊之)

## ジャーナリズム研究会

私たちジャーナリズム研究会は年に2回、学園祭に合わせて雑誌「ギルドハウス」を発行しています。

「ジャーナリズム」と聞くと堅苦しいイメージを持ちがちですが、雑誌の内容は書き手それぞれが自由に決めていますので、決してそのようなことはありません。また、今年からこの「ニュース専修」にも記事を載せていただけるようになりました。経験等は不問です。少しでも興味があれば、ぜひ部室や生田4号館前のブース(新入生歓迎時)までお越しください。

## 漫画研究同好会 (※本紙では漫画研究同好会のメンバーによるイラストが掲載されています)

私たち漫画研究同好会は50人以上という大所帯で、漫画・小説による創作活動を行っています。

2か月に一度会誌を発行し、各々の作品について批評をしたり、文化祭ではイラストボードの展示&会誌やポストカードの販売をしています。

漫画・小説が好きの人、創作が好きの人、大歓迎です！ 親しみやすい雰囲気サークルですので、興味がある人は気軽に遊びに来てください。

※5月号から本紙に四コマ漫画が登場します。